



はしもと

〈病院理念〉

地域に根づいた患者様に信頼される病院づくり

〈基本方針〉

～心のかよう病院を目指して～

患者様のため、まごころの医療を目指します

地域の皆様から信頼される病院づくりに努めます

常に新しく良質な医療ができるように心がけます

皆様の健康増進、疾病予防のお役に立ちたいと願っております

〈病院運営のコンセプト〉

1. 気づきの医療

2. わかりやすさ



新年度の挨拶～韓院長～

新年明けましておめでとうございます。



皆様方、それぞれ希望に満ちた新年をお迎えになられたことと思います。

医療法人社団和風会の病院理念「地域に根づいた患者様に信頼される病院づくり」に共感し、平成24年4月より勤務をし、早いもので5度目の新年を迎えて改めて心を引き締めております。

医療法人社団和風会橋本病院の長年の歩みと共に育成確立された運営基盤に立脚し、医療環境の変化に対応した院内整備が行われ平成24年10月より回復期リハビリテーション病棟(89床)となり病棟の充実を図ることに加え、患者様の自宅への退院に向けて患者様の「生活の質」を高めていくことに努力し、大きな成果を得て、リハビリ病棟の必要性は対外的にも良い評価を得ることが出来ております。一層の努力の継続が必要と考えます。

また、団塊の世代の人たちの高齢化、全体的に高齢者が急増し、それに合わせるように「認知症患者」様も増加の一途を辿っております。こうした認知症患者様の受け皿として認知症治療病棟(67床)の必要性は高まっております。入院患者家族様に認知症治療病棟の役割を十分に理解して頂き、信頼関係を得る努力の継続が必要と考えています。

地域の皆様の健康に貢献すべく、より安全・安心して頂ける医療を目指して職員一同頑張る所存でありますので今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

医療法人社団和風会 橋本病院

病院長 韓 憲男



新年度の挨拶～平尾副院長～

新年明けましておめでとうございます。



当院は現在67床の認知症治療病棟を稼働し、認知症治療に取り組んでいます。

我が国は本格的な高齢化社会に突入しており、それに伴い高齢者4人に1人が認知症及びその予備軍と言われており、認知症の予防、早期発見、専門的治療の重要性が認識されています。「認知症」といってもその原因には様々な相違があり、認知症のタイプによって治療も異なります。また「認知症」では、病気の経過のどの時期であるかによって治療も異なります。当院の認知症治療病棟においては、認知症の経過の中で中期以降にみられる周辺症状(夜眠らない・夕方以降落着きがなくなる・昼夜逆転・歩き回る・怒り易い・イライラしている・気持ちが落ち込んでいる・妄想・幻覚・興奮しやすいなど)を改善させることを一つの目標とし行っています。認知症の介護・治療が在宅、施設を中心の場ですが、上記のような周辺症状が顕著な場合、対応が困難になる場合もあり、そのような場合、認知症治療病棟での治療が選択肢の一つとなります。当院認知症治療病棟では拘束を行わず、個人の尊厳ができるだけ保たれることを目標とし、スタッフ一丸となって今後も地域の認知症治療に貢献していきたいと考えています。

医療法人社団和風会 橋本病院

副院長(心療内科・認知症治療病棟担当医) 平尾 徹

【医学博士、精神保健指定医、日本精神神経学会専門医、日本精神神経学会指導医】



理学療法士

近年話題になっている“フレイル”についてご存知ですか？年をとるにつれて動きにくくなったり、すぐ疲れるようになったと感じませんか？また、外出する機会が減ったということはないですか？このような状態を“フレイル”といいます。“フレイル”とは、老化に伴い手や足の力が弱くなり、運動量が減少することで転倒しやすくなったり、寝たきりになりやすい状態をいいます。介護が必要となる一歩手前の状態でもあり、75歳以上の方では“フレイル”が原因で介護が必要となる方が増えています。今回はその“フレイル”を自分で簡単にチェックできる方法について説明します。



チェック項目	1点	0点
6か月間で2～3kgの体重減少がありましたか	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
ウォーキングなどの運動を週に1回以上していますか	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
5分前のこと思い出せますか	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
(ここ2週間程度)わけもなく疲れた感じがする	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ

※3点以上でフレイル、1～2点でフレイル予備軍となります。

身体機能の低下のみでなく、閉じこもりや意欲・認知機能の低下なども原因として考えられており、日本の一般高齢者の10人に1人がフレイルと言われています。たんぱく質・糖質を中心にバランスの良い食生活を心掛け、近所の方との会話や買い物などをきっかけに少しでも外出する機会をつくることで、運動不足を解消して“フレイル”的予防・改善に努めましょう。

ソーシャルワーカー

高齢者の福祉サービスについて



高齢者の生活を支える公的サービスとして、介護保険制度が一般的に定着したと思いますが、市町村においては独自の福祉サービスも提供しています。各市町村によって提供するサービス内容は異なりますが一例としてどの様なサービスがあるか少しご紹介させて頂きます。

ご利用に関しては所得制限や条件付けがありますので各市町村でご確認頂くかソーシャルワーカーにご相談下さい。

○老人日常生活用具給付

独り暮らしだが、火の管理に不安がある…。
火事になったらどうしよう。

火災報知機、自動消火器、電磁調理器を支給します。

○寝具類等洗濯乾燥消毒サービス

衣服の洗濯は何かできるが、布団は重たくて干す事が出来ない。

布団や毛布の洗濯・乾燥・消毒を行います。



○緊急通報装置の貸出

独り暮らしだが、何かあった時にすぐに連絡がとれるようにしておきたい。

緊急通報装置(ボタンを押すだけで指定された方に連絡が行きます)を貸し出します。



○重度の方を自宅で介護している家族への手当金の支給

要介護4の夫を自宅で介護をしている。

介護をしている家族に手当金が支給されます。



その他にもオムツの支給や、訪問散髪、家族への介護指導教室など様々な各市町村独自にサービスが提供されています。

3 病棟

園芸療法

春に向けて、畑づくりをはじめました。

野菜づくりは園芸療法の手段の一つです。園芸療法は、適度な運動を伴い、作業の中で仲間とコミュニケーションを取り組むことが必要です。これは、筋力の低下予防になるだけでなく、社会性も維持することができます。また、収穫を楽しみにすることで、心にハリを持つことも可能となります。当院の園芸療法は作業療法士が中心となり行っております。

冬になり寒いため、あたたかくしてから病棟を出発して、畑に向かい、玉ねぎの苗を植えました。農作業に慣れていないスタッフよりも、患者様の方が手つきも手慣れており、逆に指導をして下さいます。

様々な療法を入院生活に取り入れ、認知症の進行予防、よい精神状態で過ごせるように努めさせていただきます。

鍬を使って土づくり



苗植え完了



草抜き



通所リハビリテーションセンターはしもと

第3回かがわ介護王座決定戦（介護技術コンテスト）に出場しました！

この決定戦は、介護職員が、日ごろから鍛錬された介護技術を競い合い、利用者の方により良い介護を提供するための介護技術の研鑽の場であるとともに、多くの方にプロの介護技術を広く知っていただき、介護の仕事への理解を深めていただくことを目的として、香川県主催により実施されています。

開催日 平成28年11月9日（水）

開催場所 サンメッセかがわ

内容 11チーム33名が、入浴・食事・排泄の部門に出場し、当日出された課題に基づき、利用者の方に最適な介護を考え、実践する。



「チームはしもと」として、介護福祉士の資格を持つ3名で出場しました。多くのギャラリーがいる中、慣れない場での実践はとても緊張し、制限時間内での介護ができませんでした。しかし、審査員の方から、丁寧に声掛けしながら介護が出来ているとのお言葉を頂きました。

今回は残念ながら賞をいただくことはできませんでしたが、この経験を活かし、今後ともより良い介護ができるように尽力していきたいと思います。

栄養部



イベント食をご紹介いたします！



ごちそうの日（寿司）



散らし寿司 ブリの塩焼
小松菜の胡麻よごし 清汁
いちご

ごちそうの日（赤飯）



赤飯 鶏肉ときのこの包み焼
焚き合せ 白菜と菊菜のごま和え
かす汁

病棟バイキング



通所リハ



おやつバイキング



当院では、毎月イベント食を提供させて頂いております。本年もごちそうの日、季節のイベント食、カードを添えた食事等、皆様に喜んでいただけるような食事にできるようスタッフ一同頑張ってまいります。



防火防災委員会

香川県シェイクアウト（県民いっせい地震防災行動訓練）に参加しました！！

11月4日（金曜日）14時から香川県シェイクアウトが実施されました。ここ近年、津波防災の日に絡め毎年行われています。シェイクアウト訓練とは、2008年にアメリカ・カリフォルニアで始まった新しい形の地震防災訓練です。

地震の際の安全行動1-2-3

「1.まず低く、2.頭を守り、3.動かない」

の行動をとります。

昨年は、熊本地震や鳥取地震も発生しました。もし今、大規模地震が発生したとしたら「自助」の考え方に基づいて「いのち」を守る行動をとりましょう。

地震の際の安全行動 1 - 2 - 3



地域連携部

平成25年12月1日から行っている**事前訪問**（当院転院前に患者様が入院されている病院へ直接訪問し、心身状態の把握や入院についての説明等を実施）の平成28年11月の実績（回復期リハビリテーション病棟）を紹介します。

- 1ヶ月の訪問件数：11月【25件】
- 入院されている病院から紹介状が届いて訪問するまでの平均日数：11月【5.3日】
- 紹介状が届いて当院へ転院されるまでの平均日数：11月【17.6日】

※事前訪問後、当院へ転院されるまでの平均日数は12.3日（2～30日）です。大変お待たせして申し訳ございません。

対象となる方

- 1.脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷の発症又は手術後、義肢装着訓練を要する状態から2ヶ月以内。
- 2.多肢の骨折、大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の骨折もしくは手術後から2ヶ月以内。
- 3.外科的手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後または発症後から2ヶ月以内。
- 4.大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は関節の神経、筋又は靭帯損傷後の1ヶ月以内。
- 5.股関節又は膝関節の置換術後の状態の1ヶ月以内。



移動も安心のサービス

転院の際の無料送迎をしております。ご希望の方はお気軽にお申し出下さい。

リハビリは 365日、1日3時間

提供させて頂きます。また、チーム医療で早期に退院できるように取り組んでいます。



入院相談はお気軽にご連絡下さい！

橋本病院 地域連携部

窓口：大西宏美

電話：0875-63-3552(直通)
0875-63-3311(代表)



平成28年7月 認知症治療病棟が
7床増床され67床になりました！

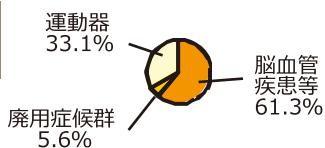


事務部

～診療実績(H28.11月)～

病棟名	1病棟 (29床)	2病棟 (60床)	3A病棟 (35床)	3B病棟 (32床)
入院料	回復期 リハビリ	回復期 リハビリ	認知症 治療	認知症 治療
平均入院患者数	27.9人	59.7人	33.4人	30.1人
平均在院日数	75日	98日	417日	249日
在宅復帰率	83.3%	81.4%	-	-

入院患者疾患別 リハビリテーション 内訳



～ノロウイルス感染症とは～

- (流行の時期)** 11月～1月頃がピーク
- (感染しやすい年齢)** すべての年齢層
- (症状)** 嘔気・嘔吐・下痢が主症状
・発熱の頻度は低い。
・嘔吐の回数は1日10回以上となる場合もある。
- (感染の経路)** ヒトからヒトへの経口感染
- (ケアポイント)** 嘔吐がある場合は無理に食べさせず、水分を少しづつ与える。
・電解質濃度の高いイオン飲料をとることで脱水症を防ぐことができる。
- (予防)** 手洗い
・次亜塩素酸系消毒液による消毒
・ワクチンは無い

*冬の到来を感じる頃から多く報告され、時には大規模な集団発生の事例も報じられています。
しっかりポイントを押さえ感染を防ぎましょう！



年末年始は12/31～1/3まで休診になります。



学会発表

第45回四国理学療法士学会

会期：平成28年11月26日（土）～27日（日）

会場：サンポートホール高松



「脳卒中患者に対する栄養補助食品の有効性について」森拓人

「Berg Balance Scaleの側面から考える自宅退院後の転倒状況」琢磨盟弘

「免荷式歩行器を使用した歩行練習により自立歩行を獲得した中心性頸髄損傷の一症例」小野みどり

「脳卒中患者の早期リハビリテーションによるアウトカム評価への影響」井上和之



香川県からは23演題登録があり、当院は2番目に多い4題発表させていただきました。また、学会運営のボランティアスタッフとしても6名参加しました。学会は90演題、約700名の参加があり過去最多だったと聞きます。

今後も香川を、四国をますます盛り上げていけたらと思います。

健康教室

香川県理学療法士会健康増進部からの

依頼で健康教室を行いました。

日時：平成28年11月15日（木）13:00～14:00

場所：茶円原公民館（綾川町滝宮）

参加人数は37名で平均年齢は約77.8歳でした。

当日は親睦会のプログラムの1つとして健康教室が行われました。親睦会では昼食にうどんを作ったり、手品等のイベントがあったりで、非常に活気がありました。

健康教室のテーマは「肩痛・ひざ痛・腰痛の予防と改善」で座学から予防体操の指導を行い、簡単な体力測定（立ち上がりテスト、片脚立ちテスト）を前に出て行なっていただきました。とても熱心に話しを聞かれ、積極的な質問も多く、私たちにとっても楽しい時間になりました。

予防体操を毎日続けて健康寿命を延ばしましょう！



講演会の案内

生活習慣病と糖尿病

食生活や運動のポイントを知り、生活習慣全体を見直しましょう！

平成29年1月22日(日)13:00~16:30 受付 12:30~

香川県社会福祉総合センター 香川県高松市番町1-10-35 TEL 087-835-3334

参加費 無料
定員 200名

あがなおこ
講師 阿河 直子 先生



香川県厚生農業協同組合連合会
屋島総合病院 副院長

12:30~13:00 受付	
13:00~13:10 開会のあいさつ	橋本康子 医療法人社団和風会理事
13:10~14:40 「生活習慣病と糖尿病」	阿賀直子 屋島総合病院 副院長
14:40~14:55 休憩	
14:55~15:15 「生活習慣病の食事について」	武田あゆみ 橋本病院 管理栄養士
15:15~15:35 「運動について」	平井光広 橋本病院 理学療法士
15:45~16:30 ディスカッション	

主催：香川県女医会 協賛：医療法人社団和風会 橋本病院

講演会事務局：橋本病院内 TEL:0875-63-3780

募集のお知らせ



薬剤師
看護師・准看護師
介護福祉士・介護職



まずは、病院見学にお越し下さい！
給与等詳細は、当院ホームページでも閲覧できます。
<http://www.wafukai-hashimoto.jp>
TEL 0875-63-3311(人事担当:安藤)

医療法人社団和風会 橋本病院

〒768-0103
香川県三豊市山本町財田西902-1

TEL: 0875-63-3311

FAX: 0875-63-2651

入院相談直通電話: 0875-63-3552

E-mail: wafukai@gaea.ocn.ne.jp

ホームページ: <http://www.wafukai-hashimoto.jp>

発行元: 橋本病院 広報委員会

医 回復期リハビリテーション病棟 89床
療 認知症治療病棟 67床
介 橋本病院指定居宅介護支援事業所
護 通所リハビリテーションセンターはしもと
メディコポリス観音寺デイサービスセンターはしもと
訪問リハビリテーションセンターはしもと

